

報道関係者 各位

平成 27 年 12 月 18 日

【照会先】

雇用均等・児童家庭局 総務課

少子化総合対策室

室長補佐 竹中 大剛 (内線 7903)

健全育成係長 市川 久敏 (内線 7909)

(代表電話) 03(5253) 1111

(直通電話) 03(3595) 2493

平成 27 年 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の実施状況

（5 月 1 日現在）

厚生労働省では、このほど「放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）」の平成 27 年の実施状況を取りまとめましたので公表いたします。

放課後児童クラブは、小学校の余裕教室や児童館などで、共働き家庭等の小学校に就学している児童に放課後等の適切な遊びや生活の場を提供する安全・安心な居場所であり、昨年 7 月に文部科学省と共同で策定した「放課後子ども総合プラン」に基づき、平成 31 年度末までに約 30 万人分の新たな受け皿を整備することとしています。クラブ数や利用登録している児童の数（登録児童数）などの状況を把握するための調査を毎年実施しています。

なお、今年度は、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」及び「放課後児童クラブ運営指針」の内容を踏まえて、調査内容を大幅に見直したことにより、全ての調査内容の集計に時間を要することから、公表を 2 回に分けて行うこととし、登録児童数等の主な数値を先行して公表するものです。

また、全ての調査結果については、集計が完了次第公表する予定です。

【参考】「放課後子ども総合プラン」（平成 26 年 7 月）の国全体の目標

○平成 31 年度末までに、

■放課後児童クラブについて、約 30 万人を新たに整備

・新規開設分の約 80%を小学校内で実施を目指す

■全小学校区（約 2 万か所）で一体的に又は連携して実施し、うち 1 万か所以上を一体型で実施を目指す

【調査結果のポイント】

○登録児童数

- ・ 1,024,635人【前年比 88,183人増】（平成26年：936,452人）

○放課後児童クラブ数

- ・ 22,608か所【前年比 524か所増】（平成26年：22,084か所）

○放課後児童クラブの支援の単位数

- ・ 26,528支援の単位（平成27年より調査）

（※）「支援の単位」とは、「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」により、児童の集団の規模を示す新たな基準として導入したものであり、児童の放課後児童クラブでの活動は、この「支援の単位」を基本として、行うこととなった。

○利用できなかった児童数（待機児童数）

- ・ 16,941人【前年比 6,996人増】（平成26年：9,945人）

○18時半を超えて開所しているクラブが全体の約48%を占めている（※）

（※）いわゆる「小1の壁」の解消に向けて、開所時間の延長が一定程度進んでいる。

〔平日〕

- ・ 10,759か所（47.6%*1） [平成26年：8,961か所（40.6%*1）]

（*1）平日に開所しているクラブ数に占める割合

〔長期休暇等〕

- ・ 10,501か所（46.7%*2） [平成26年：8,808か所（40.0%*2）]

（*2）長期休暇等に開所しているクラブ数に占める割合

○小学校内（余裕教室または敷地内専用施設）で実施するクラブ数

- ・ 12,011か所（53.1%*3） [平成26年：11,653か所（52.8%*3）]

（*3）全クラブ数に占める割合

○小学校内（余裕教室または敷地内専用施設）で実施するクラブのうち、同一小学校内で放課後子供教室を実施しており、活動プログラムに参加している数

- ・ 3,609か所（30.0%*4）（平成27年より調査）

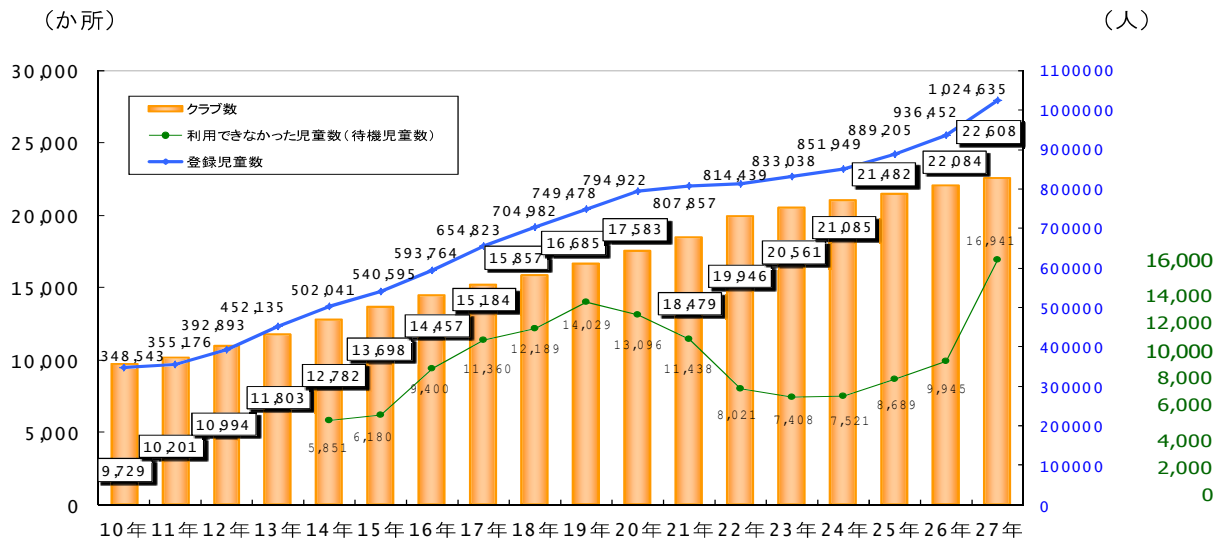
（*4）学校内で実施するクラブ数に占める割合

放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)の実施状況【概要】

1. 放課後児童クラブ登録児童数等の状況

- 登録児童数及びクラブ数ともに年々増加傾向にあり、登録児童数は、対前年88,183人増の1,024,635人、クラブ数は、対前年524か所増の22,608か所となっている。
- また、利用できなかった児童数(待機児童数)は、対前年6,996人増の16,941人となっている。

【クラブ数、登録児童数及び利用できなかった児童数(待機児童数)の推移】



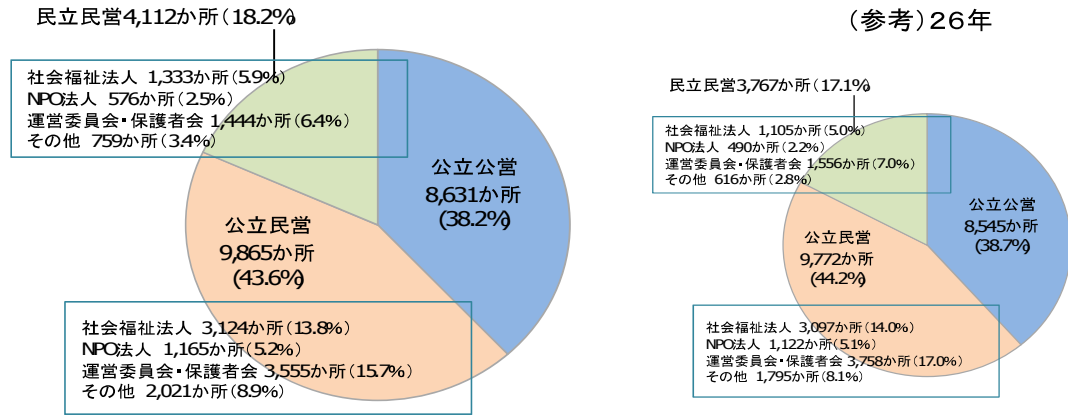
※各年5月1日現在(育成環境課調)
(平成27年10月1日以降総務課少子化総合対策室)

(参考)人口動態統計調査

	平成15年 (現6年生)	平成16年 (現5年生)	平成17年 (現4年生)	平成18年 (現3年生)	平成19年 (現2年生)	平成20年 (現1年生)	平成21年 (来年1年生)	平成22年	平成23年	平成24年
出生数 (人)	1,123,610	1,110,721	1,062,530	1,092,674	1,089,818	1,091,156	1,070,035	1,071,304	1,050,806	1,037,231
増減 (人)	▲30,245	▲12,889	▲48,191	30,144	▲2,856	1,338	▲21,121	1,269	▲20,498	▲13,575

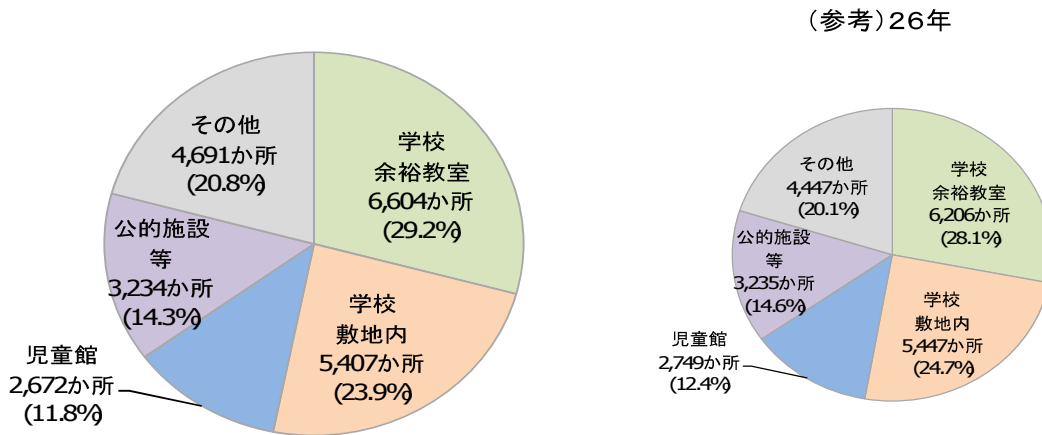
2. 設置・運営主体別実施状況

○ 設置・運営主体別実施状況でみると、公立公営と公立民営のクラブが全体の約82%を占めている。



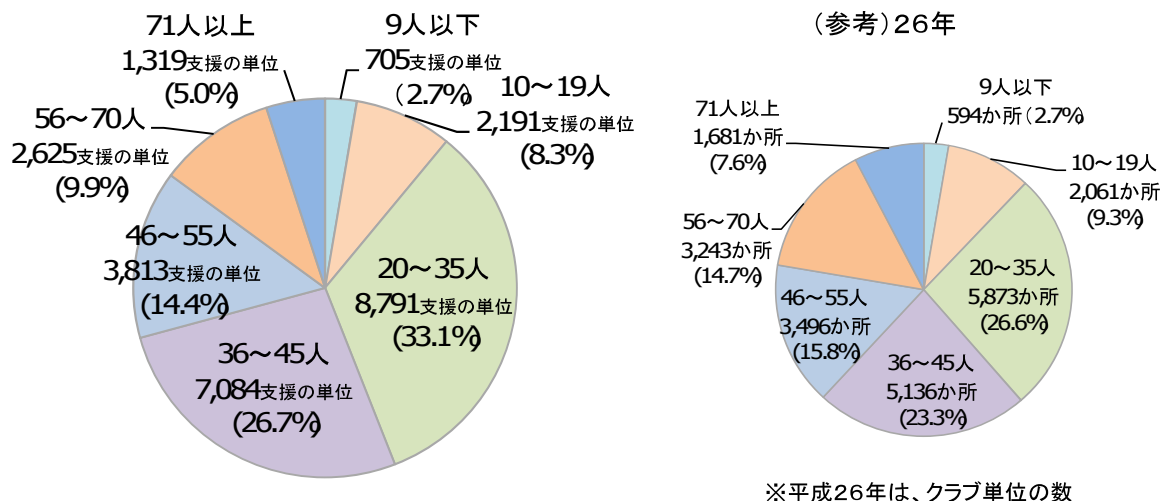
3. 設置場所の状況

○ 設置場所では、学校の余裕教室が約29%、学校敷地内の専用施設が約24%と小学校内での合計が約53%、児童館が約12%であり、これらで全体の約65%を占めている。



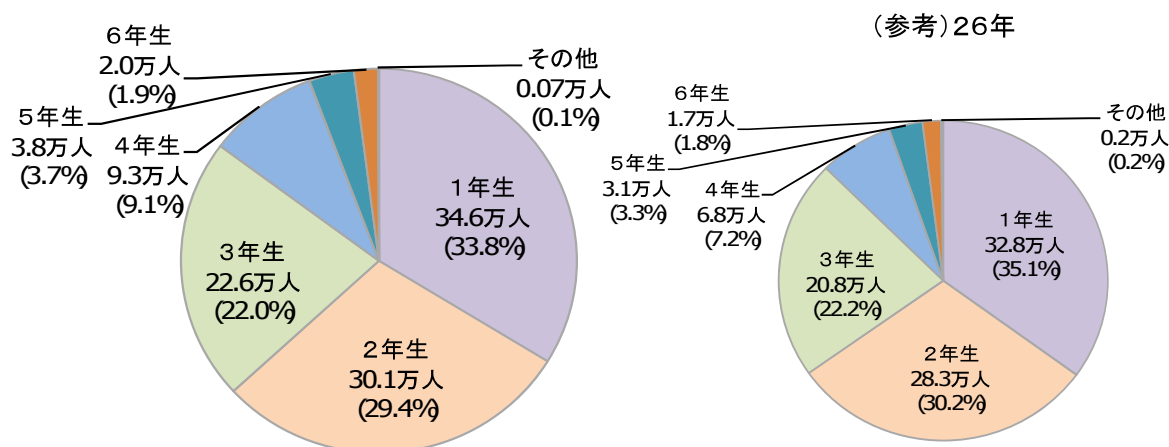
4. 登録児童数の規模別の状況

○ 登録児童数の人数規模別で見ると、45人までの支援の単位が全体の約71%を占めている。



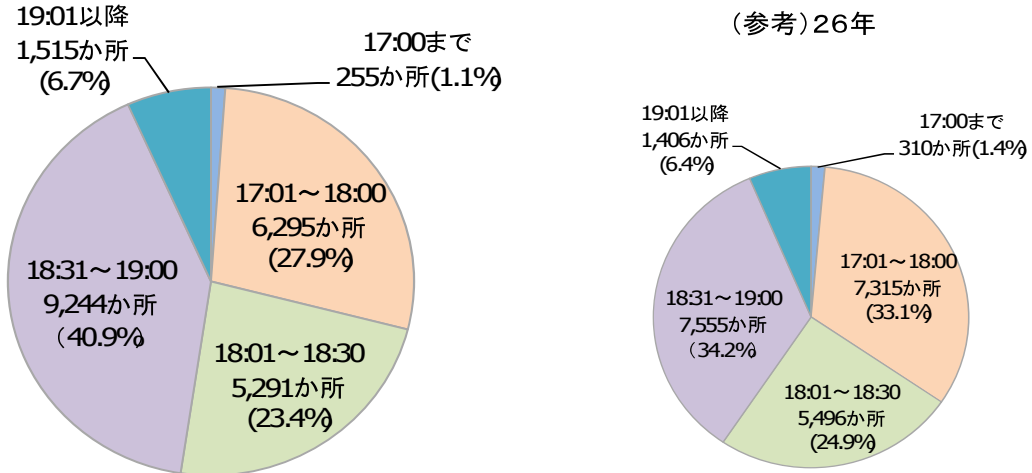
5. 学年別登録児童数の状況

○ 小学校1年生から3年生までで全体の約85%を占めている。また、小学校4年生が約7%から約9%と増加傾向にある。



6. 終了時刻の状況(平日)

○ 18時半を超えて開所しているクラブが全体の約48%を占めている。



※平日に開所されているクラブ数
(22,600)に対する割合

7. 待機児童数の学年別の状況

○ 待機児童数の学年別の状況でみると、26年と比べて小学1年生から3年生が2,886人増、小学4年生から6年生が4,180人増となっている。

